

## 第4学年2組 道徳学習指導案

篠栗町立篠栗小学校

### 1 主題名及び資料名

主題名 「何よりも尊い命」 3 - (1) 「生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする」

資料名 「人間愛の金メダル」(文溪堂)

### 2 主題設定の理由

内容項目の解釈	児童の実態
<p>「生命」とは、生物が生きていく源となる力である。単なる身体的生命に限ることなく、人格としての価値をも含む。生命は、次の三つの視点で捉えることができる。①唯一無二かけがえのない「たった一つの生命」(唯一性)である。それは、命には限りがあるという生命の有限性をも含む。②人間は一人では生きていけない。様々な人や自然や動物などとの関わりの中で生きる「支えられ生かされる生命」(関係性)である。③先祖から連続として受け継ぎ、子孫へと命のバトンを渡すという「過去から未来へと受け継ぐ生命」(連続性)である。このような視点から生命の尊さを感じ、生命をもつ全てのものを大切にしていこうとする生命尊重の精神は、道徳教育の基盤となる。</p> <p>3 - (1) に関しては、低学年において、生きることを喜び、生命を大切にすることを学ぶ機会を学習している。これを受けて、本主題では、生命は唯一無二のものであり、他のものと比べることができない何よりも尊いものであり、他の人の命も自分の生命と同じように大切にすることをとらえさせたい。これは、高学年における生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重することの学習へと発展する。</p>	<p>本学級の子どもたちは、命が大切であることは十分に分かっている。日常生活においても、自分の健康や安全に気をつけて生活していこうという意識はもっている。しかし、実際の生活場面において、自らのけがにつながる行動や友達と遊ぶ中で相手の危険につながる行動をとったり、時には相手を傷つけるような言動をとったりする場面も見られる。これは、命が大切だということは漠然と理解できているが、日常生活において、なぜ大切なのか感じる機会が少なく、生命が一つしかなく、なくなると元に戻らないという生命の尊さを実感できていないためだと考えられる。</p> <p>そこで、現実性をもって死を理解できるようになってくるこの期に、本主題を設定する。そして、命は一つしかないものであり、なくなると元に戻ることができないという、生命の尊さに気付かせ、他人の命も自分の命と同じように大切にしていこうとする心情を育て、実践への意欲を高めていきたい。このことは、生命尊重の本義を感得させるとともに、より人間らしく生きようとする力を育む上で意義深い。</p>

#### 資料の含みもつ道徳的価値

本資料「人間愛の金メダル」は、1964年に開催された第18回オリンピック東京大会における実話である。ヨットレースに出場したオーストラリアチームの選手が海に投げ出された。それを見た主人公スウェーデンチームのキエル兄弟が、レースに勝つためにそのまま進むか、人命救助を第一として助けに戻るかの葛藤の末、金メダルへのレースを中断し、人命救助を優先させた上で、レースを完走するという内容である。

本資料から、主人公キエル兄弟がライバルチームの選手の迷いや「人命救助」を決心した気持ちに共感させることにより、命はかけがえのないものであり、何よりも尊いものであるということを感じ、道徳的価値に迫ることができるものだと考える。

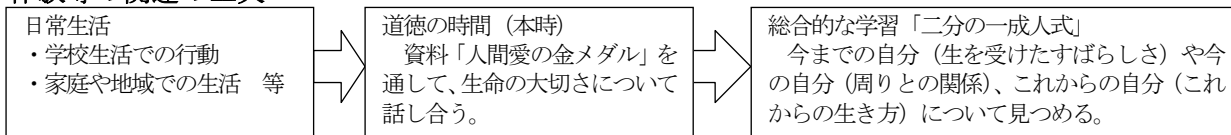
### 3 本時の目標

- (1) 命はたった一つしかなく、一度なくなると元に戻ることができないものであり、他のものと比べることができない何よりも尊いものであることが分かり、他の人の命も自分の生命と同じように大切にしようとする態度を育てる。
- (2) 生命に関する事前アンケートからめあてを設定し、資料中の主人公の気持ちや考えを心内演技や吹きだしへの表現や交流(少人数→全体)により推しはかり、保護者からの手紙を読んで、これまでの自分の生活経験における自分のよさを振り返ることにより、生命尊重の価値を感得できるようにする。




### 4 本時学習の工夫

課題意識を高める導入の工夫	追求意欲を喚起する資料活用	交流を活性化する表現活動の工夫
<p>資料①として、「命の大切さ」について方向付けをするために、事前アンケートを提示し、「命を大切に感じた時」についての体験を振り返らせる。その際、ニュース等で知った命の危険を感じた写真や救助を行っている写真を併せて提示する。その後、「自分は命を大切にできているか。」という問いをもとに課題意識をもたせ、「命の大切さについて考えよう。」という本時のめあてをもつことができるようにする。</p>	<p>資料②として読み物資料「人間愛の金メダル」を共感的に活用する。まず、ライバルチームの選手が溺れたことに気づいた時の主人公に共感することで、「そのまま進む」か「助ける」という主人公の迷いに共感させる。次に、レースを中断し助けた主人公の気持ちを推しはかることで、レースに勝つことをあきらめてまで助けることにした主人公の強い思いに気付かせる。この場面では「助ける」決心をした主人公の気持ちを交流する中で、「助けるとレースに勝てなくなるが、それでもよいのか」という深める問いにより、生命は他のものと比べることができない大切なものであるということに気付かせる。最後に、レースが終わった後の登場人物の気持ちに共感させることにより、命を大切にすることの快さから、命を大切にすることの道徳的価値を見出させる。</p>	<p>本時では、言語的表現活動を仕組む。まず、レースに勝つために「そのまま進む」か「助ける」という主人公の迷いに気付かせるために、二つの気持ちを明確にした後吹き出しに記述し、心内演技により交流する。次に、「助ける」決心をした主人公の気持ちの重さに気付かせるために、オリンピックに関する補助資料を用い、揺さぶるための深める問いを行う。その際、少人数交流から全体交流を行うことにより生命尊重の価値の自覚を深めさせる。</p>

### 5 体験等の関連の工夫



6 本時の展開

段階	学習活動と内容	教師の支援
つかむ	<p>1 事前アンケートの結果をもとに、これまでの体験を想起し、学習のめあてについて話し合う。</p> <p style="text-align: center;">&lt;命が大切だと感じたこと&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>&lt;自分が直接関わったこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の病気やけが</li> <li>・家族や友達の病気やけが(死)</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>&lt;見たり聞いたりしたこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人がなくなったニュース</li> <li>・災害救助のニュース</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">あなたは大切にしている？</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">【めあて】 命の大切さについて考えよう。</p>	<p>○ 「命の大切さ」に方向付けをし、課題意識を高めて、めあてにつなげるために、「命は大切だと感じたこと」の事前アンケートと併せてニュース等で知った命の危険を感じた写真や命の救助を行っている写真を提示し、「あなたは、本当に大切にしている？」という問いを行う。</p>
うみ	<p>2 資料「人間愛の金メダル」をもとに命の大切さについて話し合う。</p> <p>(1) 資料の状況について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック、ヨットレース。</li> <li>・レースの途中、ライバルチームの選手がヨットから落ち、命が危ない。</li> <li>・勝敗より命を選んだ。</li> </ul> <p>(2) ライバルチームのウィンター選手がおぼれている事に気づいた時のキエル兄弟の気持ちについて話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p><b>「助ける」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の命が一番大切だから。助けたい。</li> <li>・自分が今助けないと、死んでしまう。</li> <li>・レースより、命の方が大切。</li> <li>・レースはまた出られるが、命は一つしかないから助ける。</li> </ul> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%;"> <p><b>「そのまま走る」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このまま走れば勝てる。</li> <li>・助けるとレースに勝てなくなる。</li> <li>・今日はヨットの調子もいいし、勝てるかもしれない。</li> <li>・今までの練習をむだにしたくない。</li> </ul> </div> </div>	<p>○ 場面の状況把握を簡潔に行うために構造図やさし絵を使う。</p> <p>○ キエル兄弟の迷いに共感させるために、道徳ノートに記述した気持ちをもとに心内演技で交流する。</p>
だす	<p>(3) 「助ける」ことを決心し、レースを中断してウィンター選手を助けた時のキエル兄弟の気持ちについて話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 40%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、助けなかったらウィンター選手が死んでしまうかもしれない。</li> <li>・死んだら元には戻らない。</li> <li>・すぐに助けないと。</li> </ul> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">たった一つ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">なくなったら、もどらない</div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライバルでも関係ない。命を助ける方が大切。</li> <li>・レースよりも、命を助けることが先だ。</li> <li>→ &lt;他のものとくらべられない&gt;</li> </ul> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">命</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">何よりも大切な命</div> </div>	<p>○ 命の大切さを考え、「助ける」決心をしたキエル兄弟の気持ちをとらえさせるために、オリンピックに関する資料（オリンピックに出場することの大変さや国を背負って参加していること、周りの人の支え）を提示し、交流する。</p> <p>○ 生命・尊重の価値の自覚を深めるために、以下の深める問いを行い、少人数から全体交流へと広がっていく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">         助けるとレースに勝てないし、これまでの努力がだいなしになるよ。それでもいいの？     </div> <p>○ 「助けた」後のキエル兄弟の快感情、ウィンター選手や周りの人の思いを視覚的にとらえさせるために、快・不快カードで表す。</p>
ひろげる	<p>3 自分たちの生活をふり返り、自分自身の命が大切にされていることについて話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 40%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・命を助けるのは当たり前のこと。</li> <li>・レースよりも命が大切だと思う。</li> <li>・一人の命を救えてよかった。</li> </ul> </div> </div>	<p>○ 価値の主體的自覚を図り、実践の意欲を高めるために、命の大切さについて書かれた保護者からの手紙を読ませる。また、自分と同様に友達にも大切な命があることについて説話を行う。</p>

